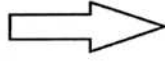


ホストシステムのカーペットメンテナンス

☆最良のメンテナンス計画の4つの要素

1. 出入り口のマット設置 (常にきれいに保つ)
2. 毎日のバキューミング
3. 常にシステム化されたシミ取り
4. 決まった箇所のホストクリーニング



全て、ホストシステムで可能です

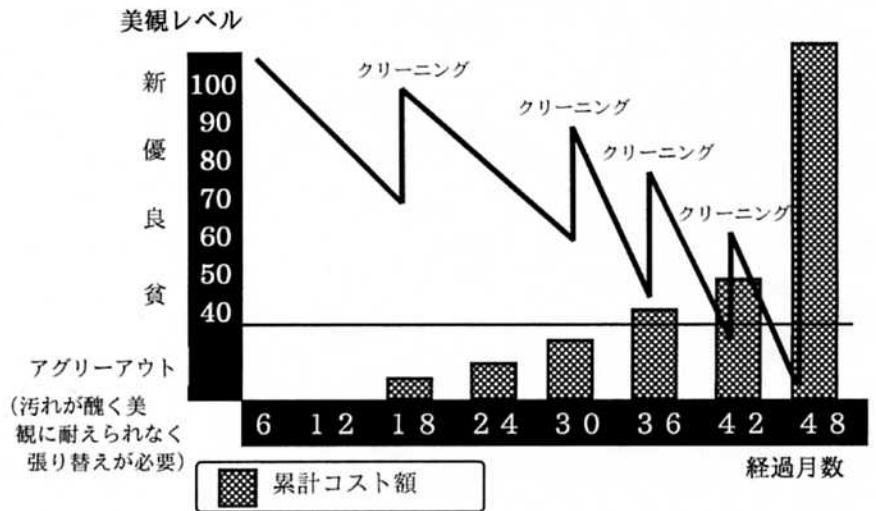
☆指定箇所の確認

1. トラックオフエリア・・・ビルの出入り口を含むハードフローアとの接触箇所
2. ファネルエリア・・・ドアをはさんだ両側のフローアがカーペットで、人の流れが一方向に集中する箇所
3. メイントラフィックエリア・・・ロビーや通常の歩行部分
4. スポットブローンエリア…シミやこぼし汚れの発生が予想される箇所 (自動販売機設置場所など)

☆従来の管理方式のデメリット

1. 作業中は通行ができない
2. クリーニングの不要な箇所までも行わなければならない
3. 洗剤の残留が多い為、再汚染も早く、カーペットに与える影響が大きい
4. 濡らす事によってムレる為にカビの発生なども起きやすい
5. ウィックバック現象が起こる
6. パイルの縮み、裂け、剥げが起こる

ウェット方式でのクリーニング (非計画的なメンテナンス)



☆ホストシステムの管理方式

・ホストのドライ方式は、従来のウェット方式でのデメリットを全て解消したものです。その中でも、徹底したシステムを元に、いかに美観を維持し、コストを低下させるかが重要になってくるのです。

ドライ方式でのクリーニング (計画的なメンテナンス)

